

すみれ組では、お正月の伝承遊びを通して聞く力、集中力、記憶力、ルールを守る・友達と協力するなどの心身の成長を育む力を大切にしていきながら、保育教諭や友達と一緒に十分楽しんでいきたいと思っています。

●カルタ●

文字だけではまだ難しいので、言葉を聞いて絵だけを見て分かるカードを選び枚数も少なめに用意して始めました。保育教諭の言葉をよく聞いて集中している姿や、上手くなってくると友達同士で競い合い、負けると泣いてしまう子の姿も。「勝って嬉しい」「負けて悔しい」気持ちも大切にしながら楽しんでいましたよ。



●すごろく●

最初はサイコロの出た目の数だけ進むことを楽しむことから始めました。子どもたち自身、数字に興味を持って自分で数えながら進むことを楽しんでますよ。何度も遊んでいくうちに、マスごとに「1回やすみ」「4マスすすむ」ということに「これ何？やってみよう」と興味が出てきたので、進んでいくだけではなくこのマスで止まったらどうなるか、ということをお伝え保育教諭や友達と一緒に止まったら「あー休みや」「やったー、いっぱい進める」など言いながら楽しんでいましたよ。



●コマ●

いろいろな形があって最初は自分でできそうなコマを選んで回していたのが、少しずつ指先の力や「ひねる」という動作が身につけてきて少し回しにくいコマにも挑戦しています。また、友達とどっちのコマが長く回っているかを競い合っていて楽しむすみれ組さんでした。



●福笑い●

目隠しをするだけでも最初は楽しいすみれ組さん。友達との信頼関係も十分出来てきて、「これ何？」と手に持っているものを聞いたり、「どこ？」と場所を聞いて挑戦！変な顔になっても「面白い！」と言って友達と交代しながらみんなそれぞれどんな顔の福笑いになるかを楽しんでる姿にほっこりしました。



●筒けん●

けん玉とは違い紐がついてなく、筒に丸い玉を乗せる遊びです。膝を曲げ伸ばしする・腕を上げ下げするといった体全体の動きが必要となってくる遊びですが、まだそこまですることが難しく乗せることを頑張っています。落ちないようにしっかりと玉と筒を見て乗ると、「できたよ！」「見て！やったー！」と喜ぶ姿が見られました。手の動かし方も出来る子が出来ない子に「こうするんだよ」と教えてあげていることもありました。



お正月遊びを通して、今後もルールのあるゲームを楽しんだり、友達と協力してやり遂げる達成感を味わう気持ちを大切にしながら過ごしていきたいと思っています。

雪遊び

今月は雪遊びをできる日が何度かありましたね。すみれ組では冬ならではの自然現象に興味を持ちたり、雪・氷を見たり触れたりして思い切り楽しんで過ごしていきたいと思っています。

園庭の地面に積もった雪がカチコチに凍っていた日もあり、子どもたちは「滑るー！」と言いつつも喜んで凍った雪の上を歩いていました。

「ゆっくり歩いたら大丈夫だよ。」「こっちは滑らないから危なくないよ」と友達同士で会話しながら遊んでいる様子も、自分たちでよく考えていて成長を感じました。

また、手では掘れない氷を「スコップなら掘れるよ！」と考えて掘る姿も見られました。

「これかき氷にできるかな？」「ケーキ作る。」など、子どもたちから引き出しがたくさん出てきましたよ。

また、別の雪の日には、年上児や年下児と一緒に雪合戦をしたりソリに乗って遊んだりして、異年齢児との関わりも十分楽しむことができました。来月も雪の日にはまた十分楽しみたいと思いますので、引き続き雪遊びのご準備の方よろしくお願ひします。



保育参観ではお子さんの成長した姿がたくさん見られたのではないかと思います。

お忙しい中、ご参加ありがとうございました。